~次代へつなぐ豊かな農業・農協と地域社会をめざして~

2016------JA佐渡の経営内容



写真: 小倉千枚田農園稲刈りイベントの様子

プロフィール

		•	
設		立	平成5年8月1日
本	店所在	地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出	資	金	26. 1 億円
総	資	産	1,198億円
組	合 員	数	15,797人 (正組合員8,388人•准組合員7,409人)
職	員	数	447人
店	舗	数	本店、支店 9店
			/ -

(平成28年8月31日現在)

平成28年8月末 JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の状況

(単位:百万円)

H28 年 8 月	H28 年 2 月	H27年8月			
110,002	113,236	111,249	金		貯
84,268	87,222	83,773	爭	け	預
15,973	16,371	17,330	睁	出	貸
4,850	5,330	5,298	券	価 証	有

- ○貯金残高は計画比 97.2%、前年比 98.9%ともに下回りました。 特に公金 7.4億円の減少の影響が大きく、個人貯金についても 4.5億円減少しました。個人貯金の減少の主な要因として遺産 相続による資金の島外流失等の影響があげられます。
- ○預金残高は計画比では 99.7%と下回ったものの、前年比 100.6% となりました。収益面でも、計画比で 98.8%となりましたが、前年比では 101.2%と上回っています。
- ○公金を除く貸出金残高については計画比 86.1%、前年比 87.8%と 低調な実績となりました。
- ○有価証券は計画比 88.2%、前年比 91.6%となりました。満期償還 および金利低下のため債券の購入を見送った影響から、残高は計 画に対して 1 3 億円下回っています。



(単位:百万円)

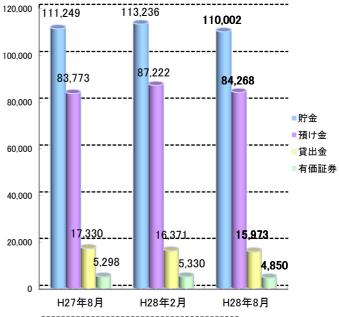
				H27年8月	H28 年 2 月	H28年8月
経	常	収	財	3,943	8,522	3,754
経	常	費	田	4,066	8,489	3,864
経	常	利	益	▲123	32	▲110
当	期乗	余	睁	▲ 142	▲ 72	▲ 121
未	処分	剰余	睁		90	_

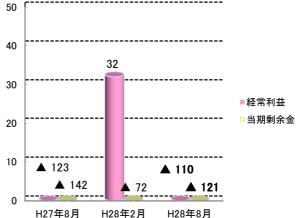
○資金残高等の減少、低金利等の影響の中で信用事業の増収が相当難しい中、各事業とも着実な実績の積み上げと管理費圧縮などの総合的な経営に努めていますが、上半期利益は前年より良いものの計画には達しておりません。

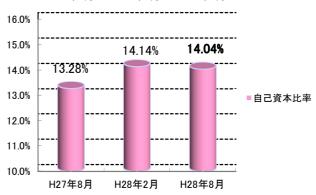
単体自己資本比率(推計値)

(単位:百万円、%)

	H27 年 8 月 (推計値)	H28 年 2 月	H28 年 8 月 (推計値)
自己資本額(A)	5,843	5,902	5,793
リスクアセット(B)	43,968	41,743	41,245
自己資本比率 (A)÷(B)×100	13.28%	14.14%	14.04%







8月末の単体自己資本比率(推計値)は平成28年2月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額 を基準に、8月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額により算出しています。

自己資本比率の算出方法について

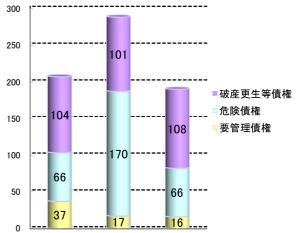
- 〇出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウエイトづけをした総 資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。
- ※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた 総額をリスク・アセットといいます。

不良債権の状況

金融再生法開示債権(法施行規則第4条の規定によるもの)

(単位:百万円)

	H27年8月	H28年2月	H28年8月
破産更生等債権①	104	101	108
危険債権2	66	170	66
要管理債権③	37	17	16
小計(①+②+③=A)	208	290	191
正常債権④	17,299	16,282	16,019
債権額合計(A+④=B)	17,507	16,572	16,210
債権額に占める開示債権の 割合(A÷B×100)	1.20%	1.75%	1.17%



H27年8月 H28年2月 H28年8月

開示債権と保全の状況(平成28年8月)

当組合では、厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資 産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円)

	自己査定と保全の状況								金融再生法 (経済債権		リスク管理	理債権
債	務	者	区	分	残高 A	担保等保全額 B	貸倒引当金 C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破		綻		先	21	87	65	100.0%	破産更生等	108	破綻先債権	10
実	質	破	綻	先	130	87	00	65 100.0%	債 権	108	7元:世/主+午	101
破	綻	懸	念	先	98	84	13	100.0%	危険債権	66	延滞債権	161
亜	要	管理会	先		26	21	0	79.8%			3ヵ月以上延滞債権	_
要注意先								'	要管理債権	16	貸出条件 緩和債権	16
先	そ(の他望	医注意	き先	750						合計	188
Œ		常		先	18,322				正常債権	16,019	нш	100
		173										
合				計	19,350				合 計	16,210		

リスク管理債権について

- 1. 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」 といいます。) のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生 じている貸出金です。
- 2. 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として 利息の支払を猶予したもの以外の貸出金です。
- 3. 「3カ月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3カ月以上延滞している貸出金です。
- 4. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返 済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 1. 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再 生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元 本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 3. 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」 以外の債権です。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

原 左 豆 八		平成 27 年 8 月		平成 28 年 8 月		
保有区分	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	_	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	_	-	-	-	-
その他	5,089	5,298	208	4,679	4,850	170
合 計	5,089	5,298	208	4,679	4,850	170

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・くらしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「農業メインバンク」として社会的責任を担っております。

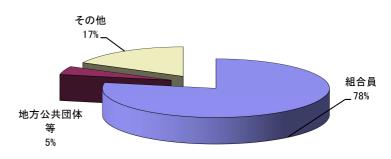
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「生活メインバンク」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

残 高	種類							
85, 921	組 合 員							
5, 036	団 体	共	公	方	地			
19, 044	そ の 他							
110, 002	숨 計							

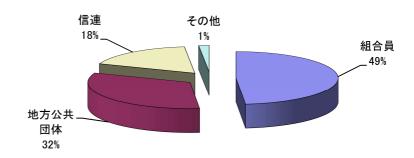


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種類	残 高
組 合 員	7, 748
地 方 公 共 団 体	5, 161
信連	2, 800
そ の 他	262
숨 計	15, 973



農業メインバンク機能強化への取り組み

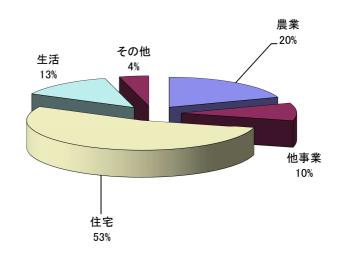
地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてTAC(営農経済渉外活動)等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。こうした活動を円滑に実施するため「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟およびJA佐渡独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

貸出金の資金使途別等の残高

〔貸出金〕 (単位:百万円)

種類	H27 年	H28 年
性 類	8月	8月
農業資金	1, 639	1, 568
その他事業資金	846	761
住宅関連資金	4, 427	4, 284
生活関連資金	1, 109	1, 068
その他	342	329
合 計	8, 363	8, 011





社会的貢献活動への取り組み

当JAは、地域金融機関としてどなたからも身近で、親しまれ、選ばれる金融機関であるために経営ビジョンである「地域の未来を育むJA」をめざして、広く地域社会に貢献すべく、次のような活動を取り組んでいます。

- ◆毎年3月と8月には「環境美化ボランティア」を実施し、組合員・全役職員参加による全島的な美化活動に取り組んでいます。また、助け合い組織「ほほえみ会」の活動や、青年部や女性部組織による福祉施設等でのボランティア活動や高齢者の意向位の場「ほほえみ広場」を毎年実施しています。
- ◆青果市場などと毎年 11 月 3 日に共同開催している「ふれあいアッセまつり」や、各支店を中心に実施する夏祭り・収穫祭など地域住民とのふれあいなど地域貢献活動を大切にしています。
- ◆佐渡市認証米制度を通じた消費者との交流や朱鷺環境整備募金 の取り組み等行政と一体となり佐渡島の PR に取り組んでいます。



写真:ほほえみ会員等による施設ボランティア



写真:「ふれあいアッセまつり」での募金活動



写真:環境美化ボランティア(3月、8月)

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

- ◆JA関連施設での太陽光発電設備の導入など二酸化炭素削減、電力コスト削減をはかるとともに、夏場の省電力PRのための各施設での緑のカーテンの設置などに取り組んでいます。
- ◆店舗、共同利用施設などのバリアフリー化など高齢化社会に配慮した店舗、施設づくりなど計画的に施設整備を進めています。



写真:本店前の緑のカーテンと畑野農業倉庫の太陽光パネル

これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

◇Aコープ店 : 食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売

店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役

として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所 : 平成26年8月にオープンしたJA直営直売所

「新鮮空間 よらんか舎」と「菜菜きて屋まの」、 Aコープ各店でのインショップ方式による産直 コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消

費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。

◇セレモニーホール: 増加するホール葬需要に応えるために、グルー

プ会社の運営により島内2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬

など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド : 本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引

き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソ

リンスタンドを島内3か所に設けております。

◇総合ポイント制度: 各種事業のご利用に応じて会員の皆様へのポイントによる還元サービスを行っております。

現在会員数は約28,000名のご加入をいただいております。

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り 組んでおります。

組合員数の推移

(単位:組合員数)

				H27年8月	H28 年 2 月	H28年8月
正	組	合	員	8,658	8,483	8,388
准	組	合	員	7,268	7,316	7,409
組	合	員	計	15,926	15,799	15,797

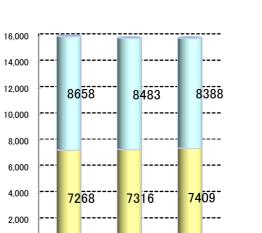


写真:農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

■正組合員 ■准組合員

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

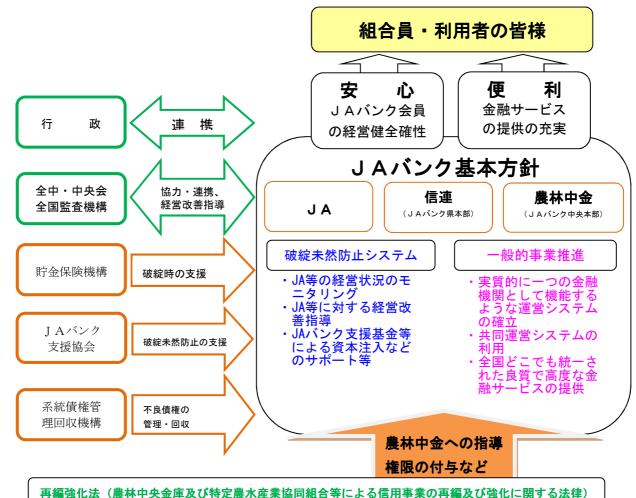
H27年8月 H28年2月 H28年8月

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員(JA・信連・農林中金)で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



4編烛化法(展外中央並厚及ひ符定展外性未協向組合寺による信用争耒の冉編及ひ蚀化に関する法律

JAバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

- ●貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- ●貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

+

破綻未然防止システム

- ●全国のJAバンクが協力して個々のJA を支援する、独自の制度である「相互援助 制度」を一層充実・強化しています。
- ●「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック(モニタリング)、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。



編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

E-メール <u>kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp</u>

ホームへ゜ーシ゜http://www.ja-sado-niigata.or.jp/

JA佐渡

